



## 2025年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年8月6日

上場会社名 日本信号株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 6741 URL <https://www.signal.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 塚本 英彦  
 問合せ先責任者 (役職名) 総務部長 (氏名) 藤本 浩正 (TEL) 03-3217-7200  
 配当支払開始予定日 —  
 決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2025年3月期第1四半期の連結業績(2024年4月1日~2024年6月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第1四半期	16,654	17.6	△202	—	618	—	2	—
2024年3月期第1四半期	14,155	1.2	△1,521	—	△997	—	△1,067	—

(注) 包括利益 2025年3月期第1四半期 △67百万円(—%) 2024年3月期第1四半期 650百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第1四半期	0.03	—
2024年3月期第1四半期	△17.12	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第1四半期	150,151	95,257	63.4
2024年3月期	165,295	96,821	58.6

(参考) 自己資本 2025年3月期第1四半期 95,257百万円 2024年3月期 96,821百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	7.00	—	24.00	31.00
2025年3月期	—	—	—	—	—
2025年3月期(予想)	—	10.00	—	21.00	31.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日~2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	100,000	1.5	8,000	17.2	8,800	11.5	5,700	6.6	91.39

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年3月期1Q	68,339,704株	2024年3月期	68,339,704株
② 期末自己株式数	2025年3月期1Q	5,968,382株	2024年3月期	5,968,382株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2025年3月期1Q	62,371,322株	2024年3月期1Q	62,371,434株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想に関する事項は、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報等)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2024年4月1日~2024年6月30日)における世界経済は、ロシアによるウクライナ侵攻長期化や中東情勢緊迫化などの地政学リスクの高まり、米国の大統領選挙を控えた市場の動向など、先行き不透明な状況が続いております。

国内経済においては、引き続きロシアへの経済制裁の影響等によるエネルギー価格の上昇の影響はあるものの、円安を背景とした好調なインバウンド消費等により緩やかな回復基調にあります。また、物価上昇による個人消費鈍化の懸念が存在しているものの、賃上げや雇用情勢の改善を背景に景気の緩やかな回復が期待されます。

このような状況の中、当社グループは、2024年度から新たに第3期中期経営計画「Realize-EV100」をスタートいたしました。コロナ禍により急激に変化した経営環境及びニーズから浮き彫りとなったものづくりの課題を踏まえ、業務効率化、新事業・新商材の開発、国際事業の更なる拡大に取り組んでまいります。また、本計画の取り組みの一つとして、慢性的な交通渋滞が課題となっている東アフリカでの営業活動を展開するため、7月にウガンダ共和国に営業所を設立いたしました。

当第1四半期連結累計期間の経営成績といたしましては、受注高は26,573百万円(前年同期比15.3%減)、売上高は16,654百万円(前年同期比17.6%増)となりました。損益面につきましては、営業損失は202百万円(前年同期は1,521百万円の営業損失)、経常利益は618百万円(前年同期は997百万円の経常損失)、親会社株主に帰属する四半期純利益は2百万円(前年同期は1,067百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失)となりました。

事業の概況をセグメント別に申し上げますと、次のとおりであります。

#### [交通運輸インフラ事業]

「鉄道信号」では、国内市場においては、鉄道事業者各社向けに自動列車制御装置や連動装置、無線列車制御装置等の受注・売上がありました。また、高解像度カメラを活用した踏切状態の検知・支援の新システムをリリースするなど、安全な移動を支える新製品の開発にも取り組んでまいりました。今後も引き続き安全で快適な移動の実現に貢献してまいります。

海外市場においては、インドネシア等で鉄道信号システムの受注・売上がありました。中でも、当社システムを導入しているインドネシアのジャカルタ都市高速鉄道では、当社の実績が評価され、新たに延伸区間の信号システム一式の受注に成功いたしました。引き続き導入実績をもとにアジア諸国のインフラ需要に応え、交通インフラによる快適で安全な街づくりに貢献してまいります。

道路交通安全システムを中心とする「スマートモビリティ」では、MVNO(回線提供事業サービス)や交通管制システム等の受注・売上がありました。自動運転実証実験の各種プロジェクトへも積極的に参画しており、当社は自動運転車両と道路の信号機や路側センサと連携した「インフラ協調」に資する製品、技術の提供を引き続き行ってまいります。

結果といたしましては、受注高は16,024百万円(前年同期比7.0%増)、売上高は7,393百万円(前年同期比8.5%増)となりました。また、損益面につきましては、セグメント損失は45百万円(前年同期は840百万円のセグメント損失)となりました。

#### [ICTソリューション事業]

駅務ネットワークシステムを中心とする「AFC」では、国内市場においては、各種ホームドアや券売機、改札機、駐車場機器等の受注・売上がありました。また、大都市圏で導入が急速に進むことが見込まれるクレジットカードやデビットカード、QRコード等を活用したキャッシュレスの乗車サービスや実証実験にも積極的に取り組んでまいりました。

海外市場においては、バングラデシュやベトナム等でAFCシステム等の受注・売上がありました。

ロボティクス及びセンシングを中心とする「R&S」では、ホームドアや建機・農機に搭載する3D距離画像センサや危険物の有無を短時間で探知できるX線手荷物検査装置等の受注・売上がありました。また、7月より西日本旅客鉄道株式会社様の営業路線にて、高所作業用人型ロボット(多機能鉄道重機)が使用開始されました。今後も社会課題である「現場の重労働・危険作業」の改善を目的とした安全性向上と効率化に貢献してまいります。

結果といたしましては、受注高は10,549百万円（前年同期比35.7%減）、売上高は9,260百万円（前年同期比26.1%増）となりました。また、損益面につきましては、セグメント利益は783百万円（前年同期比266.5%増）となりました。

## （2）財政状態に関する説明

### ①資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、棚卸資産の増加4,837百万円等がありましたものの、受取手形、売掛金及び契約資産の減少21,197百万円等により、前連結会計年度末に比べ15,143百万円減少の150,151百万円となりました。

負債は、短期借入金の減少7,400百万円、支払手形及び買掛金の減少2,545百万円、未払法人税等の減少1,758百万円、賞与引当金の減少1,303百万円等により、前連結会計年度末に比べ13,579百万円減少の54,893百万円となりました。

純資産は、利益剰余金の配当による減少1,496百万円等により、前連結会計年度末に比べ1,564百万円減少の95,257百万円となりました。

### ②キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は11,996百万円となり、前連結会計年度末に比べ235百万円の増加となりました。

当第1四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローは次のとおりであります。

#### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは、棚卸資産の増加や仕入債務の減少等がありましたものの、主に売上債権の減少により、10,032百万円の資金の増加（前年同期は10,770百万円の資金の増加）となりました。

#### （投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは、主に有形・無形固定資産の取得等により、866百万円の資金の減少（前年同期は92百万円の資金の増加）となりました。

#### （財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金の返済や配当金の支払等により、8,953百万円の資金の減少（前年同期は9,156百万円の資金の減少）となりました。

## （3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年5月14日に公表いたしました2025年3月期（2024年4月1日～2025年3月31日）の通期連結業績予想の修正はありません。

当社グループの主要事業のうち、交通運輸インフラ事業の「鉄道信号」、「スマートモビリティ」およびICTソリューション事業の「AFC」につきましては、主要顧客である国内鉄道各事業者の設備投資や、警察等の公共投資が中心となっているため、当社グループの売上高の比重は期末に高くなる傾向があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	11,803	12,038
受取手形、売掛金及び契約資産	72,154	50,957
電子記録債権	1,151	1,660
商品及び製品	6,239	7,876
仕掛品	9,119	11,766
原材料及び貯蔵品	7,175	7,729
その他	2,999	3,583
貸倒引当金	△1	△0
流動資産合計	110,641	95,611
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,316	6,225
機械装置及び運搬具（純額）	1,009	1,294
工具、器具及び備品（純額）	1,965	2,036
土地	5,488	5,488
リース資産（純額）	68	65
建設仮勘定	2,277	1,817
有形固定資産合計	17,125	16,927
無形固定資産		
2,876	2,876	3,034
投資その他の資産		
投資有価証券	29,043	29,006
長期貸付金	2	2
退職給付に係る資産	3,040	3,078
繰延税金資産	686	707
その他	1,899	1,803
貸倒引当金	△20	△21
投資その他の資産合計	34,650	34,577
固定資産合計	54,653	54,540
資産合計	165,295	150,151

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	13,397	10,851
電子記録債務	5,989	5,153
短期借入金	18,700	11,300
リース債務	5	4
未払法人税等	2,491	733
賞与引当金	2,755	1,451
受注損失引当金	719	629
その他	13,750	14,077
流動負債合計	57,809	44,201
固定負債		
長期預り金	99	99
長期未払金	27	26
リース債務	5	4
繰延税金負債	727	719
偶発損失引当金	545	615
退職給付に係る負債	9,259	9,227
固定負債合計	10,663	10,692
負債合計	68,473	54,893
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	10,000	10,000
資本剰余金	7,585	7,585
利益剰余金	71,860	70,365
自己株式	△6,571	△6,571
株主資本合計	82,874	81,380
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	13,574	13,548
退職給付に係る調整累計額	372	328
その他の包括利益累計額合計	13,947	13,877
純資産合計	96,821	95,257
負債純資産合計	165,295	150,151

## (2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2024年4月1日 至2024年6月30日)
売上高	14,155	16,654
売上原価	12,173	13,211
売上総利益	1,981	3,442
販売費及び一般管理費	3,503	3,645
営業損失(△)	△1,521	△202
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	256	411
生命保険配当金	182	157
為替差益	107	193
不動産賃貸料	78	78
保育事業収益	2	0
その他	16	16
営業外収益合計	643	858
営業外費用		
支払利息	14	12
不動産賃貸費用	13	13
租税公課	46	2
保育事業費用	9	8
廃棄物処理費用	29	-
その他	6	0
営業外費用合計	120	37
経常利益又は経常損失(△)	△997	618
特別利益		
固定資産売却益	0	0
投資有価証券売却益	425	-
特別利益合計	425	0
特別損失		
固定資産除売却損	0	0
投資有価証券評価損	0	-
特別損失合計	0	0
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	△572	618
法人税等	494	616
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△1,067	2
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,067	2

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,741	△25
退職給付に係る調整額	△22	△43
その他の包括利益合計	1,718	△69
四半期包括利益	650	△67
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	650	△67

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	△572	618
減価償却費	517	552
固定資産除売却損益(△は益)	0	0
投資有価証券売却損益(△は益)	△425	-
偶発損失引当金の増減額(△は減少)	-	70
受取利息及び受取配当金	△256	△412
支払利息	14	12
売上債権の増減額(△は増加)	19,699	20,688
棚卸資産の増減額(△は増加)	△5,043	△4,837
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,247	△3,406
契約負債の増減額(△は減少)	900	413
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△16	△70
その他	△1,764	△2,300
小計	11,806	11,328
利息及び配当金の受取額	256	362
利息の支払額	△14	△12
法人税等の支払額	△1,286	△2,206
法人税等の還付額	9	560
営業活動によるキャッシュ・フロー	10,770	10,032
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△37	△37
定期預金の払戻による収入	37	37
有形固定資産の取得による支出	△529	△653
無形固定資産の取得による支出	△329	△286
投資有価証券の取得による支出	△23	△2
投資有価証券の売却による収入	978	-
その他	△3	76
投資活動によるキャッシュ・フロー	92	△866
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△7,895	△7,400
関係会社からの預り金による純増減額 (△は減少)	△10	40
関係会社以外からの預り金による純増減額 (△は減少)	-	△93
リース債務の返済による支出	△1	△2
配当金の支払額	△1,249	△1,498
財務活動によるキャッシュ・フロー	△9,156	△8,953
現金及び現金同等物に係る換算差額	6	22
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,713	235
現金及び現金同等物の期首残高	8,365	11,760
現金及び現金同等物の四半期末残高	10,078	11,996

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

## I 前第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

## 1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2023年5月10日 取締役会	普通株式	1,247	20.00	2023年3月31日	2023年6月2日	利益剰余金

## 2. 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

## II 当第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

## 1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2024年5月14日 取締役会	普通株式	1,496	24.00	2024年3月31日	2024年5月31日	利益剰余金

## 2. 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(原価差異の繰延処理)

季節的に変動する操業度により発生した原価差異は、原価計算期間末(年度末又は第2四半期連結会計期間末)までにほぼ解消が見込まれるため、当第1四半期連結会計期間末では、当該原価差異を流動資産(その他)として繰り延べております。

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純損益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

## I 前第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結 損益及び包括 利益計算書 計上額 (注2)
	交通運輸 インフラ事業	I C T ソリューション 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	6,812	7,343	14,155	—	14,155
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	6,812	7,343	14,155	—	14,155
一時点で移転される財又は サービス	1,538	3,345	4,883	—	4,883
一定の期間にわたり移転さ れる財又はサービス	5,273	3,998	9,272	—	9,272
計	6,812	7,343	14,155	—	14,155
セグメント利益又は損失(△)	△840	213	△626	△894	△1,521

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△894百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない親会社本社の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業損失と調整を行っております。

## II 当第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結 損益及び包括 利益計算書 計上額 (注2)
	交通運輸 インフラ事業	I C T ソリューション 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	7,393	9,260	16,654	—	16,654
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	7,393	9,260	16,654	—	16,654
一時点で移転される財又は サービス	2,109	3,883	5,993	—	5,993
一定の期間にわたり移転さ れる財又はサービス	5,284	5,376	10,661	—	10,661
計	7,393	9,260	16,654	—	16,654
セグメント利益又は損失(△)	△45	783	738	△941	△202

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△941百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない親会社本社の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業損失と調整を行っております。

## 【関連情報】

## I 前第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

地域ごとの情報

売上高

(単位:百万円)

国内	アジア	その他	合計
12,805	1,310	40	14,155

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎として地域ごとに分類しています。

## II 当第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

地域ごとの情報

売上高

(単位:百万円)

国内	アジア	その他	合計
15,494	1,072	87	16,654

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎として地域ごとに分類しています。